

町会・自治会振興特別委員会 意見交換会 実施結果報告書

本委員会では、町会・自治会への加入促進とマンションとの関係、町会会館の運営など、現状と課題を確認することを目的として、令和3年11月15日（月）に、菊川三丁目町会、石原三丁目町会、本所二丁目町会及び京島三丁目北町会の4町会の役員との意見交換会を実施した。概要は次のとおりである。

1 開会日時

令和3年11月15日（月）午後6時から午後7時55分まで

2 出席者

町会役員 7人

菊川三丁目町会	会長	吉田耕一
	副会長	平澤龍一
石原三丁目町会	会長	伊藤林
本所二丁目町会	会長 (墨田区町会・自治会連合会長)	石倉一郎
	副会長	猪又健一
京島三丁目北町会	会長	金谷直政
	副会長	林衛

3 主な意見等

(1) 町会への加入促進とマンションとの関係について

- ・ 私たちの町会は、区域の約75パーセントがマンションであり、各世帯に加入をお願いしていくのは難しい。そのため、管理組合や管理会社と文書を交わして、一括で町会費を頂いている。
- ・ マンション建設の説明会に参加し、協定書を交わすようにしている。
- ・ 建築説明会等に伺い、町会のことを説明するようにしている。後から建築業者と異なる管理会社が入ったときは、改めて訪問して説明をしている。
- ・ 大手の管理会社は一括加入に協力的だが、途中で管理会社が中小企業に替わったとき等は、個別に対応することになってしまうことがあり、そうすると、退会する人が出てくる。
- ・ 管理会社は一生懸命やってくれていたが、町会加入について住民アンケートを取ったところ、残念ながら町会には入らないという人が多かったとのことで、個別に交渉することになってしまった。

- ・ 管理会社が管理費等と町会費を一括して徴収し、支払っているマンションの場合、住民に自分が町会に加入しているという認識が低く、地縁に対する思いが薄くなっている。
- ・ マンションの管理組合の役員には、必ず町会の役員、外部役員になってもらい、会合等に出席してもらっている。
- ・ 従前は、管理組合の理事長に町会総会への招待状を出していたが、誰も来ないので、こちらからマンションの管理組合の総会に出席し、町会の説明をしている。
- ・ マンション等に新しく転居してきた人たちとは、なるべくコミュニケーションを取るようになっている。
- ・ 防災訓練等の行事には、マンションの人たちにもできるだけ参加してもらっている。
- ・ 顔を合わせて話をしたいが、オートロックでマンションに立ち入ることができず、なかなか踏み込めない。
- ・ マンションの数はそれほど多くなく、比較的良好な関係ではあるが、町会費を振り込むだけの関係になっている人が多い。
- ・ ワンルームマンションの住民は若い人が多く、町会に無関心であると感じる。また、町会や地域に関わりたくないという人が多い。
- ・ 区の集合住宅条例の適用範囲外の小さなマンションが増えており、条例に基づく町会への連絡が来ない。
- ・ 地域交流対策委員会を設置し、マンション対策について検討している。
- ・ 転居してきた人からすると、町会は何をしているのか分からず、昔からの住民の仲良しクラブのように見えるのかも知れない。一方で、災害発生時には町会の役割に期待する声もある。町会は気になる存在だが、知るきっかけがないということが問題なのではないか。
- ・ 区役所から転入者の紹介があり、会いに行くが、なかなか会ってもらえない。
- ・ 町会に加入していなくても参加できる町会行事のお知らせを掲示板等でしており、葬式などの相談もできることを周知している。
- ・ マンションの掲示板に区や消防の文書等を貼ったり、町会だよりを貼ったりしているが、住民の認識がそういうところに全然向いていない。
- ・ 加入促進のため、町会新聞を全家庭に配っている。
- ・ 区が作成している「町会に入りませんか」という漫画で描かれたパンフレットがなかなか好評で、東京都の会合でも大分評判がよかった。
- ・ 比較的若い住民が多いので、町会でSDGsにしっかり取り組むことで、新しい人を呼び込みたいと考えている。
- ・ 新しい住民には子育て世代が多いので、行事に参加してくれるよう、町

会から積極的に声掛けをしている。併せて、町会の役員として参加していただくことを推奨している。

- ・ 我々から歩み寄って、町会に加入していない人たちと意見交換ができる場を設けることが大切だと思う。

(2) 町会会館の活用と維持管理について

- ・ 比較的新しく、広いスペースがあるので、公文(くもん) 着物教室、マンションの集会等、広く貸し出しており、その収益を維持管理費に充てている。
- ・ 各種行事に使いやすいように、畳を撤去して広いスペースを用意している。
- ・ 子どもたちが安心して活動できる場所として、また災害時の避難場所としても活用できるような町会会館にしたいと思っているので、議会や区の力を借りたい。
- ・ 町会会館を一時的な避難場所として使うことができれば、近所の人たちの不安を少しは払しょくできるのではないか。集会施設としてはもちろん、災害対応施設としても積極的に活用するといった視点も必要だと思う。
- ・ マンションの一部が町会会館になっており、管理組合が施設の維持管理を行っているため、手間が掛からないようになっている
- ・ マンションの一部を買い取って町会会館にしているが、狭くて貸出用途に制限があり、使い勝手が悪い。
- ・ 町会会館が木造で古いため、建替えを検討しているが、費用の面で様々な問題が生じている。他自治体のような融資制度があるといいと思う。

(3) その他町会活動に関すること

- ・ 月に2回、防犯パトロールを行っており、その際に出会った人と話をし、一人ずつ顔を覚えていくように心掛けている。
- ・ 中学生は地元で遊んでいることが多く、まちに詳しいので、できるだけ防災訓練に参加してくれるよう声掛けをしている。
- ・ 子育て世帯が多く、土日は子どもと過ごす大切な時間であるので、土日の行事を減らしている。また、土日が休みというのも当たり前ではなく、様々な勤務形態の人がいるので、その時できる人ができることをやるという方針にしている。
- ・ 大きい町会といっても4,000人程度なので、区や議会は、区全体を盛り上げていく方法を考えてほしい。